



葛の三つ葉



千葉市立葛城中学校
学校だより 03-20 号
令和4年3月11日(金)
卒業式特別号 (弥生)

行事等がある場合には、随時発行してまいります。なお、ホームページにもアップしています。

第75回卒業証書授与式・第22回旅立つ時

校長式辞

卒業生のみなさん、卒業おめでとう。今、みなさんにお渡しした卒業証書は、中学校の全教育課程の修了と九年間の義務教育をも終了したことを証明するものです。この卒業証書は、同時に保護者の方にお渡ししなければならないものです。卒業生のみなさんは、今日のうちに、これまで心配をかけながらも心温かく見守ってくださった家族の方々に卒業証書を見せ、素直に感謝の気持ちを伝えてください。このことを今日伝えることで、本当に中学校を卒業、義務教育を修了したと言えるのです。



さて、現代は予測不可能な時代であるとかねてから言われていましたが、まさしくそのとおりとなりました。11年前の今日3月11日金曜日は、葛城中学校の卒業式でした。当時、私は、葛城中の3年職員でした。立派な卒業式、感動的な「旅立つ時」の後に起こった東日本大震災は、「まさか」の一語に尽きました。そして二年前から始まった新型コロナウイルスの世界的流行、さらには、今、ウクライナで起きている戦争も「まさか」の出来事です。おそらくこれからも「まさか」の出来事が起こらないとは、限りません。そんな時代だからこそ大切なのは、校訓である「和敬協力」であり、協力し合える仲間、そして友であることは、この中学校生活で学んだと思います。

英語に「まさかの時の友こそ真の友」ということわざがありますが、「まさか」のことが多くあったこの中学校生活で、一生付きあっていける真の友情が育まれたと思います。これからの人生においても、いろいろな場面で協力し合うことが多くあると思います。協力の「協」とは、まさしく力を合わせるという意味です。そして、一人一人が力を持つことで、協力の力が増すのです。そのために必要なのは、自分自身の心を育てること、鍛えることだと思います。

そこで、旅立つ君たちに二つの言葉を送ります。

一つ目は「すべては心の持ち方次第である」という言葉です。これは、アメリカのアラバマ大学のアメフト部の名コーチであった、ウォルター・D・ウイントルさんが選手を鼓舞するために作った詩の題名、そしてフレーズです。詩の一部を紹介します。

成功は人の意思から始まる すべては心の持ち方次第である
出来るし、やると考えろ すべては心の持ち方次第である

そしてもう一つは、「克己心」という言葉です。これは、中国の思想家である孔子の教えを記した「論語」が由来といわれています。意味は、自分自身に打ち勝つ心のことです。自分以外の人に勝つという意味ではありません。みなさん、ぜひ、自分の心の持ち方を大切にしてください。また、克己心を養ってください。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心からお祝い申し上げます。また、この三年間、本校教育の推進に深いご理解とご協力を頂き、加えて、この二年間、コロナ禍における感染症対策にもご協力いただき、心から感謝申し上げます。お子様を三年間お預かりしましたが、十分に指導できなかった点多々あったかと思えます。この先、お子様が、一人一人の使命を自覚し、立派な社会人に成長されますよう、心からお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和4年3月11日

千葉市立葛城中学校長 鎌野 繁

在校生からのお祝いのメッセージ！

生徒会長 2年B組 O・Sさん

3年生のみなさんご卒業おめでとうございます。そしてこれまで最高学年として私
たちを引っ張ってくださり本当にありがとうございました。先輩方には、いつも助けて
いただいたり、多くのことを教えていただいたりしました。



部活動では、コロナの影響で朝練ができなくなったり、活動時間が短縮されたりした中でも、与えられた時
間の中で、できることを考え、一分一秒を大切に活動する先輩の姿が、私たちにもやる気を与えてくれまし
た。また、分からないことがあったら優しくアドバイスをしてくださったり、率先して声を出してみんなを引っ張っ
たりしている先輩の姿は私たちの目指す姿です。委員会活動では、自分の考えを順序だてて分かりやすく説
明している姿や、学校をよりよくするためにたくさんのお話を話している姿、自分の仕事でなくてもできる
ことを探して積極的に行う姿、そしてリーダー会議や中央委員会であいさつや返事など細かいところまで意
識している姿は、いつも私たちのお手本となっていました。体育祭や音楽祭など多くの行事では、いつも私た
ちのことを力強く導いてくださいました。少しでも行事がよりよくなるよう、何度も何度も話し合い、確認し、練
習している先輩の姿から、準備の大切さを学びました。

これまで多くのことを教えてくださった先輩方には、感謝の気持ちでいっぱいです。先輩方が卒業してしま
うのはとても悲しく少し不安ですが、これからは私たちが学校の中心となり、先輩方に教わったことを生かし
て頑張っていきます。先輩方も新しい進路先でも、ぜひ頑張ってください。これまで本当にありがとうございました。

生徒会副会長 2年C組 Y・Hさん

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。二年前、新型コロナウイルス感染拡大により入学式が
延期され、なかなか中学校になれることができなかった私たちを、先輩方が温かく迎えてくださりました。私
たちは、部活動、委員会、行事とこれまで本当に多くの場面で先輩方に助けられてきました。おかげで例年よ
りも短かったはずの先輩方と過ごす時間は、私たちにとって、とても充実した長い時間に感じられました。この
二年間を振り返ると、先輩方への感謝の気持ちでいっぱいです。

部活動では、練習時間が減り、制限のある状況でしたが、先輩方は技術面や精神面で多くのことを教え
てくれました。また、コンクールに向けて前向きに練習に打ち込む先輩方の姿に憧れていました。委員会でも
常に周りを見て私たちの一歩先を見据えて行動する姿は私たちの憧れでした。そして音楽祭、体育祭など行
事が縮小される中でも、一つ一つの練習、行事に本当に全力で取り組んでいる先輩の姿を、常に私たちは
見てきました。

部活動、委員会、行事の中で、これまでに先
輩から学んだ伝統と意思を決して絶やさな
いよう私たちが受け継いでいきます。そしてさら
に葛城中学校を盛り立てていけるよう、すべて
の活動に全力で取り組みます。私たち在校生
は、卒業生のみなさんのこれからの活躍を心
より応援しています。



【1・2年旅立つ時実行委員会のみなさん】